

SGH基調講演会を開催しました

5月7日（火）に、長崎大学グローバル連携機構 機構長特別補佐の山下龍先生による SGH 基調講演会を開催しました。山下先生は SGH 運営指導委員でもあり、オランダ研修にも同行していただいています。この基調講演会では、中学3年生と高校1年生に対して、「羽ばたけ！ひがしから世界へ」という演題でご講演いただきました。日本に帰化された山下先生はご自身の豊富な経験から「自分で考える、決める、行動する」ことの大切さを楽しくわかりやすく話してくださいました。この講演を通して生徒はグローバルな視点やローカルな視点だけではなく、グローバルな視点を持つことの必要性を学ぶことができました。これらの視点は今後生徒が様々な活動を行う基盤になるものと思われま



【生徒の感想（抜粋）】

「異文化と言っても日本とオランダで様々な違いがあるということから、世界約195カ国では山のように違いが出てくるはずで、それをどのように受け止めて自分の中で噛み砕いていくかが大切であり、また自分の中の常識にとらわれず、自分で考え、決め、行動し体験していくことが、SGH、ひいてはこれからの社会で重要であることを理解することができた。」

「これから、SGHなどの活動の中で、自国のためだけでなく、世界のためという広い視野を持っていこうと思います。そのために、自分にできることや自分の意見について考え、それを周りと共有することを大切にしたいです。」

「さっそく今日からバスの中での時間を読書にあてたいと思います。なぜなら外国の方々との交流には言語力、異文化経験、そして知識が必要だとおっしゃっていて、本を読むことで知識が入ってくるし、（先生自身も）学生時代にたくさん本を読んだとおっしゃっていたからです。」



5月7日のオランダ研修の報告 / SGH 基調講演会の様子